

研究分野と教員紹介（看護学研究科）

基盤看護学分野



つちだ としえ

土田 敏恵 教授

 tsuchida@hyo-med.ac.jp

研究分野 基礎看護学、看護教育学

研究テーマ

臨床における専門が皮膚・排泄ケアと感染管理ですので、研究テーマもこれらに関連しています。現在は、高齢者の便秘に関する研究や、病院内の感染管理に関する研究を行っています。患者さんのベッドサイドで研究をさせていただきながら、ナースが患者さんの排泄のお世話をさせていただき意義と重要性について、日々深く考えています。

資格 看護師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 大阪大学大学院 医学系研究科
博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

研究をイチからきちんと学びたい方、今までの自分の看護実践や臨床で感じた疑問を検証してみたいと思っている方、大歓迎です。奥深い看護と一緒に探求しましょう。



すずき みゆき

鈴木 みゆき 教授

 mioka@hyo-med.ac.jp

研究分野 基礎看護学

研究テーマ

看護実践・看護技術の科学的検証が大きなテーマです。現在までに、1.自立に向けた排尿援助、2.対象者に触れるときの看護師の手・看護師の冷え、3.体圧分散マットレス上の動作等に着目し、主に生体指標を用いた観察研究・実験研究のほか、介入研究や質問紙調査を行ってきました。

資格 看護師、保健師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 大阪大学大学院 医学系研究科
博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

改めて看護について考えたい、看護を発展させていく力を養いたいなど大学院に興味を持たれた方には是非進学をお勧め致します。大学院に進学したからこそ経験できるプロセスや学び、そして強化される力が多くあります。研究では、興味・関心事象を研究テーマとしてブラッシュアップさせていくステップからサポート致しますので、勇気を出して歩を進めてください。



こんの りえ

今野 理恵 教授

 ri-konno@hyo-med.ac.jp

研究分野 看護開発科学

研究テーマ

看護実践上のテーマについての国内外の研究論文を検討し総括(ベストエビデンス)するシステムティックレビュー方法論を専門としています。研究テーマは主に認知症高齢者のアドバンスケアプラン、入浴介助時のBPSDを予防する看護ケアなど、認知症ケア関連が多いです。

資格 看護師

- ≫ Ph.D,
- ≫ School of Nursing,
University of Adelaide

・受験希望者へのメッセージ

日々の看護実践での疑問や気づきを、大切に研究へつなげるお手伝いできればと思います。こんなテーマで研究はおかしいですか？といった受験生さんも歓迎します。

療養支援看護学分野

もり かずえ



森 一恵 教授

[✉ kz-mori@hyo-med.ac.jp](mailto:kz-mori@hyo-med.ac.jp)

研究分野 急性看護学、急性・重症患者看護CNS

研究テーマ

・周手術期看護に関するテーマ（乳がんの術後看護、緩和ストーマの看護、骨軟部腫瘍の術前から術後のケア、肺がんの術後の回復期のケアなど）
・意思決定支援に関するテーマ（高齢がん患者の周手術期に関するケア、急性心不全のACPIについて、造血幹細胞移植の患者の意志決定支援に関するケアなど）
・困難な治療の意思決定支援、ACP（終末期ケアを含む）に関するケアなどクリティカルな場面で患者主体となるケアが必要な状況について探求を深めています。

資格 看護師

- ≫ 看護学博士
- ≫ 大阪府立看護大学大学院 看護学研究科博士後期課程終了

・受験希望者へのメッセージ

クリティカルな状況にある患者・家族にとってよりよいケアとは何かを一緒に考えてみませんか。意思決定支援、看護倫理の側面の探求、ACPに関する患者・家族の支援など、これからの医療と看護に求められる課題や興味ある現象に看護の視点で一緒に取り組んでみませんか。

ささかわ ひさみ



笹川 寿美 准教授

[✉ shisami@hyo-med.ac.jp](mailto:shisami@hyo-med.ac.jp)

研究分野 急性看護学、急性・重症患者看護CNS

研究テーマ

これまでに、①主に周手術期～在宅におけるがん患者のQOLとボディイメージの変容への看護、②看護学生、臨床看護師の看護実践能力を高めるための教育に関連したテーマで研究を行ってきました。現在、クリティカルな状況にある患者の睡眠と心理、術後の遷延性疼痛、国際看護に着目しています。

資格 看護師

- ≫ Queen Margaret University
MSc in Nursing(UK)

・受験希望者へのメッセージ

クリティカルな状況にある患者・家族への看護問題や倫理的問題を検討し、患者の生命の維持、QOLの向上を目指した看護援助について一緒に探求してみませんか？大学院での学びは、つらいこともありますが将来への力につながっていきます。

ふかわ あきこ



府川 晃子 教授

[✉ fukawa@hyo-med.ac.jp](mailto:fukawa@hyo-med.ac.jp)

研究分野 がん看護学、がん看護CNS

研究テーマ

告知の段階、積極的な治療をしている時期、あるいは症状緩和を中心とした時期など、病気と一緒に生きていくがん患者さんやご家族をさまざまな場面で支える看護について考えていきたいと思っています。現在は「分子標的薬を内服する高齢肺がん患者のQOLを保つための自己管理促進プログラムの開発」などをテーマに、高齢がん患者、治療期にあるがん患者への支援を中心に探求しています。

資格 看護師、保健師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）
大学院看護学研究科博士後期課程修了

・受験希望者へのメッセージ

日本人の2人に1人はがんになるという、多くの人がこの病気とのつきあい方を考えざるを得ない時代の中で、看護の役割はますます大きくなっています。がん患者さんやご家族が自身の望むより良い生活や豊かな人生を送れるよう、実践の場に還元していけるような学びや研究を、大学院で行ってみませんか。私自身も皆さんと一緒に学び、成長していきたいと考えています。



かんざき はつみ

神崎 初美 教授

kanzaki@hyo-med.ac.jp

研究分野 慢性看護学

研究テーマ

主に、リウマチ看護や災害看護に関連する研究を行っています。①リウマチ看護職の看護実践能力の検証とセルフケア支援促進プログラムの構築 ②看護実践に特化した健康生成論とストレス対処力概念SOCに関する応用モデルの開発におけるリウマチ患者の適応に関する研究 ③災害発生時における精神障害者の適応的行動を促進させる介入支援モデルの開発 ④ Nurse's experience in providing care at shelters following natural hazards and disasters: a qualitative systematic review

資格 看護師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 大阪大学大学院 医学系研究科 博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

慢性看護の基盤となる概念や理論を用いて、看護実践へ適用する力や研究する力を養います。学問は楽ではありませんが、楽しみながら一緒に学んでいきましょう。



ふじもと ひろかず

藤本 浩一 教授

hr-fujimoto@hyo-med.ac.jp

研究分野 精神看護学

研究テーマ

精神障害を持ちながら地域で生活される方々への訪問看護について研究しています。特に、精神科訪問看護の現場で止む無く起きてしまう暴力の現状と対策が主要な研究テーマです。また、精神科領域に従事する看護師が、安全/安心に働くためには、能力を発揮/成長させていくためには何が必要なのか…を日々、考えています。

資格 看護師、保健師

- ≫ 博士(保健学)
- ≫ 神戸大学大学院 保健学研究科 博士学位 取得

・受験希望者へのメッセージ

変遷する精神科領域の現場において、どのような看護ケアがよりの確なのか我々は見出しにくい時代なのかもしれません。その足元を照らす少しの明かりとなるような研究をめざして、みなさんと学びあいたく思っています。

家族支援看護学分野



いしはら あや

石原 あや 教授

a-ishihara@hyo-med.ac.jp

研究分野 小児看護学

研究テーマ

「要支援児」とは、援助がなければ、健康や発達が達成あるいは維持できない可能性のある子どものことです。子ども自身に病気や障がいがある場合はもちろん、親自身が育児に困難を抱えている場合も少なくありません。このような子どもや家族への「養育支援」のあり方、親としての発達を支援する「ペアレンティング」について関心を持っています。

資格 看護師、保健師

- ≫ 修士(教育学)
- ≫ 明星大学大学院 人文学研究科 教育学専攻 修了

・受験希望者へのメッセージ

少子化社会の中での不適切な親子関係、養育問題を抱える家族への支援、慢性疾患や障がいなどの健康障害をもつ子どもと家族が抱えている問題などに関心のある方々の進学をお待ちしています。



にしむら あきこ

西村 明子 教授

nisimura@hyo-med.ac.jp

研究分野 母性看護学

研究テーマ

父親の産後うつ病に関する研究をしています。これまで、量的研究により産後1か月と4か月の夫婦のうつ状態の関連要因について、質的研究として産後半年から1年の夫婦にインタビューを行い、生活の変化や夫婦関係について明らかにしてきました。今後は、どのような支援が夫婦のうつを予防できるのか研究していきたいと考えています。

資格 看護師、助産師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

大学院は、いろんな人や考えに出会って視野を広げ、これまでの自分をみつめなおす貴重な経験ができる場です。今実践している看護にどんな意味があるのか、いったん立ち止まって考えてみませんか。研究テーマは、母性・助産領域であれば何でもかまいません。関心のあるテーマについて、広く深く調べていけます。まずは一歩、踏み出しましょう！



たむら やすこ

田村 康子 教授

ya-tamura@hyo-med.ac.jp

研究分野 助産学

研究テーマ

北アフリカに位置するモロッコ王国をフィールドとして、助産師の実践がよりエビデンスに基づき、人間的なケア実践となるよう、産痛緩和ケアの習得支援に取り組んでいます。現在はCommunity of Practiceの概念をもとに助産師基礎教育に関係する現地の助産師と共に助産師学生の産痛緩和ケア習得の支援について研究しています。また、災害に対する母子の備えに関する研究、HTLV-1陽性の母親の短期授乳に関する研究にも取り組んでいます。

資格 看護師、助産師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 兵庫県立大学 看護学研究科 博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

日々の実践の中で、「これでいいのだろうか」「どうしたらいいのだろう」「もう少し調べてみたい」となったままのことはありませんか？
大学院修士課程では、助産に関連する様々な概念や理論を学び、これまでの実践を通して気になったままになっている現象や課題について探究する力を養います。探究のプロセスは山あり谷ありですが、学が楽しさがあり、大学院を修了した後の助産実践を支える糧になります。自分が関心をもっているそのことを大切にして、本学の修士課程で深く取り組んでみませんか？

生活支援看護学分野



ほそみ あきよ

細見 明代 教授

hosoya@hyo-med.ac.jp

研究分野 老年看護学

研究テーマ

日常生活を支える看護技術に関する研究、高齢者ケアにおける看護職の連携・協働に関する研究に取り組んでいます。
●高齢者の下肢浮腫のケア実践に関する研究
●高齢者の転倒転落に関する研究 施設・在宅療養高齢者への日常生活援助技術に関する研究
●高齢者ケアにおける看護職・介護職の連携に関する研究

資格 看護師

- ≫ 博士(看護学)
- ≫ 武庫川大学大学院 看護学研究科 博士後期課程 看護学専攻 修了

・受験希望者へのメッセージ

さまざまな健康レベルにある高齢者が、最善の健康状態を保ちながらその人らしい生活を続けられるよう支援する役割を看護職者は担っています。日々の生活援助の一つひとつが、高齢者一人ひとりの生活を支えています。皆様が高齢者への看護実践のなかで、悩まれたり疑問に思われたりしていることを、研究疑問、研究課題へと精錬し、課題解決のための看護実践を追求していきましょう。



ひろかね かずえ

廣金 和枝 教授

ka-hirokane@hyo-med.ac.jp

研究分野 地域看護学

研究テーマ

主な研究テーマは、保健師基礎教育における学校を場とした活動に関する教育です。学校は、子どもたちが社会の一員として飛躍していけるよう、それぞれの個性ある成長・発達を支える場であり、生涯にわたる健康の自己管理能力を育てる場でもあります。また、子どもたちを通して地域や家庭に健康を広げていくことのできる、大きな可能性を秘めた場でもあります。そのような学校という場の強みを生かした保健活動の展開方法、それらを展開できる専門職教育について探求しています。

資格

看護師、保健師、助産師、養護教諭専修免許

- ≫ 博士(保健学)
- ≫ 大阪大学大学院 医学系研究科
保健学専攻 博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

地域看護学は、健康の支援を通して、地域で生活する人々のウェルネスの向上とそれらを支える公正で安全な地域づくりを探求する学問です。社会の変化に伴い、看護の場も地域へと広がっています。地域に看護の拠点をおき、個の支援のみならず、地域の健康課題を解決する方策を探求したい方の参加をお待ちしています。



ほりぐち かずこ

堀口 和子 教授

khoriguchi@hyo-med.ac.jp

研究分野 在宅看護学

研究テーマ

住み慣れた地域で人生の最期まで幸福に暮らし続けることができる社会の実現をめざし、個人・家族にミクロレベルから地域社会のメソレベルの課題まで、在宅看護の発展に寄与する知見を探求しています。主な研究テーマは多重介護者の支援方略、中重度要介護者の在宅療養継続に向けた家族支援、在宅独居高齢者のエンド・オブ・ライフに関する研究などです。

資格

看護師、保健師

- ≫ 博士(保健学)
- ≫ 神戸大学大学院 医学系研究科
博士後期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

超高齢多死社会、在宅医療の進展のなかで、療養者・家族のQOL向上や多職種連携等、地域包括ケアシステムの円滑な実践のために検討すべき課題は山積みです。在宅現場で活躍する仲間と連携し、この実践科学を追求してみませんか。



すずき ゆきえ

鈴木 千枝 准教授

ysuzuki@hyo-med.ac.jp

研究分野 在宅看護学

研究テーマ

在宅看護学研究の目標の一つである地域包括ケアの進化や推進を目指し、地域・在宅における認知症者、訪問看護師による在宅療養者への看護実践、介護家族に関する研究を行ってきました。現在は、認知症の人が地域で安心して暮らし続けることを実現するための研究に取り組んでいます。療養者とその家族に還元できる研究を行いたいと常々考えています。

資格

看護師

- ≫ 修士(保健学)
- ≫ 神戸大学大学院 保健学研究科
博士前期課程 修了

・受験希望者へのメッセージ

医療介護政策の中でもとりわけ重要なのは在宅ケアの基盤整備です。研究を通して新たな知見を得、重度化・多様化・複雑化が進んでいる在宅療養者とその家族へのケアを探求しませんか。